

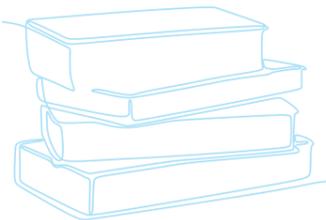


第27回萩原朔太郎賞は、最終候補作品6点の中から、和合亮一さんの詩集『QQQ』（思潮社）に決まりました。

その他の最終候補（刊行順） 『天国と、とてつもない暇』 最果夕ヒ（小学館）、『紫雲天気、嗅ぎ回る 岩手歩行詩篇』 暁方ミセイ（港の人）、『薄明のサウダージ』 野村喜和夫（書肆山田）、『パウル・クレーの〈忘れっぽい天使〉を だいどころの壁にかけた』 相沢正一郎（書肆山田）、『鳩の時間』 岩阪恵子（思潮社）

前橋文学館
☎027・235・8011

今年の朔太郎賞決まる
和合亮一さんの『QQQ』が受賞



和合亮一さんプロフィール

1968年、福島県生まれ。詩人、国語教師。主な詩集に『RAINBOW』、『詩ノ黙礼』、『詩の磔』、『詩の邂逅』、『廃炉詩篇』、『昨日ヨリモ優シクナリタイ』など。東日本大震災直後、被災地から発信し続けたツイッター上の詩集が話題になった。



● **贈呈式・記念イベント**
賞の贈呈や選考経過の説明、受賞者の和合さんによる記念講演などを行います。

日時 10月27日(日)13時30分
会場 前橋文学館
対象 一般、先着80人
申し込み 10月5日(土)から同館へ



まちが熱気に包まれる2日間
伝統の前橋まつり、今年も

戦後の復興祭として始まり、市民の祭りとして発展し続けてきた前橋まつり。今年も、10月12日(土)・13日(日)の2日間にわたり盛大に開催します。

前橋まつり実施委員会
☎027・234・5109
当日は実施本部
☎027・232・9711

● **交通規制に注意を**
祭り期間中は10時から21時まで中心市街地で、11時から14時30分までは国道50号本町通りで交通規制を実施します。

● **無料駐車場とおまつりバス**
総合福祉会館やけやきウォーク前橋（文京町二丁目）、県前橋合同庁舎（上細井町）の駐車場を利用できます。

用できます。

また、無料おまつりバスは県前橋合同庁舎から国道17号沿いの前橋テルサ前まで、約30分おきに運行します。

運行時間 12日(土) 9時15分～21時15分(13日) 9時45分～21時15分

● **子ども会のみこしを担ぐ**
法被を着てまちなかを歩く、子どもみこしの担ぎ手を募集。参加希望者は当日13時30分に弁天通り

の大蓮寺前に集合してください。

日時 10月12日(土)14時～16時
対象 小学生、先着30人
青少年課
☎027・898・5872

● **前橋文学館が観覧無料**
10月12日(土)・13日(日)は前橋まつりに合わせて、常設展と特別企画展の観覧料が無料になります。

前橋文学館
☎027・235・8011

朔太郎の詩の演奏も
マンドリンで朔太郎に思いはせる

前橋文学館 ☎027-235-8011

萩原朔太郎が愛したマンドリンにちなみ「マンドリンのまち前橋～朔太郎音楽祭2019」を開催します。

● **マンドリンオーケストラ演奏会**

高校生の部と社会人・大学生の部の2つのマンドリンオーケストラが、青山忠さんの指揮で演奏。武藤理恵さんが作曲した朔太郎の詩「晩秋」を、テノール歌手の布施雅也さんが初演する他、管楽器や打楽器を加えた100人のオーケストラによるスペシャルステージもあります。また、文学館長の萩原朔美や高校放送コンテスト県大会入賞者によるポエムリーディングも行います。

日時 10月20日(日)14時
会場 昌賢学園まえばしホール
申し込み 当日会場へ直接



● **前橋原風景写真展も同時開催**

写真家の井上道夫が撮影した昭和30年代の前橋を、パネルで展示します。
日時 10月17日(木)～20日(日)、10時～17時
会場 昌賢学園まえばしホール